



株式会社 天満屋ストア

証券コード:9846

第56期 中間報告書

2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日



TENMAYA STORE



株主のみなさまへ



取締役社長
野口 重明

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第56期上半期（2024年3月1日から2024年8月31日まで）が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善され、賃金上昇等による個人消費マインドの高まりやインバウンド需要の増加などから緩やかな回復基調となりました。しかしながら、エネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇等に加え、地政学上リスクの高まりなどが国内経済に与える影響として懸念され先行き不透明な状況が続いております。また、商品価格の相次ぐ値上げの影響により、消費者の堅実志向、節約志向が根強く残る状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化および持続可能社会の実現に注力してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業収益（売上高および営業収入）は294億円（前年同期比0.9%増）、営業利益は11億95百万円（前年同期比24.9%増）、経常利益は12億87百万円（前年同期比31.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は8億36百万円（前年同期比43.8%増）となりました。なお、中間配当金につきましては、1株につき7円とさせていただきます。

小売事業につきましては、原材料価格高騰等による相次ぐ値上げの影響を受けた低価格志向への対応として安さが伝わる分かりやすいEDLP「超得」などによる低価格戦略の強化や「セブンプレミアム」の拡充および拡販、時間帯別の品揃えの充実に取り組むとともに、利便性向上や生産性向上のためにフルセルフレジを一部店舗に導入いたしました。

さらに、当社創業55周年企画として、食料品・生活用品・衣料品の55周年記念特別商品の拡販や子育て世代のお客様の生活

支援に向けた取り組みとして新たな販促策「子育て応援の日」を導入するほか、地元高校や地元企業とタイアップした商品の販売イベントを開催いたしました。

また有限会社ハッピーバラエティが6月に「移動スーパーとくし丸」の51台目を開業し、見守り活動と買物弱者の支援を通じて地域活性化や地域貢献に取り組んでまいりました。さらに従来のペットボトル回収機に加え、アルミ缶回収機の設置店舗を拡大することで環境に配慮した取り組みを行い、持続可能社会の実現に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の小売事業の営業収益は255億30百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は10億10百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。また、4月には事業再編として、株式会社三好野本店の高速道路サービスエリア運営事業を株式会社でりかエッセンが承継いたしました。さらに同月に天満屋ハピータウン児島店において、株式会社でりかエッセンが運営するレストランを新たに「三好野レストラン児島店」および「三好野珈琲児島店」として改装オープンするなど、グループシナジーの創出に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の小売周辺事業の営業収益は38億69百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は1億84百万円（前年同期比85.0%増）となりました。

今後の見通しといたしましては、賃金上昇により所得環境は改善し、個人消費の持ち直しが期待されるものの、エネルギー価格の上昇や物流問題、原材料価格高騰などにより消費者の生活防衛意識の高まりが懸念されます。

当社グループといたしましては、お客様の節約志向への対応としてEDLP「超得」や「セブンプレミアム」の拡充および拡販のほか、時間帯別品揃えのさらなる強化に取り組んでまいります。また、レジ混雑緩和のためのフルセルフレジ導入店舗拡大を図り、お客様がストレスなくお買物ができる環境整備と利便性向上に努めるとともに、9月に円山店（岡山市中区）、11月に落合店（岡山県真庭市）を改装するなど既存店舗の活性化を推進してまいります。

さらに、AIを活用したレジシフト自動作成システム導入店舗の拡大や自動発注の精度向上により、生産性向上に取り組んでまいります。また、働き方改革を推進し、従業員が心身ともに生き活きと働ける職場環境の整備に加え、各種研修を通じて環境の変化に対応できる人材の育成に取り組んでまいります。このほかに、冷蔵ケース照明LED化やアルミ缶回収機設置店舗の拡大など環境に配慮した取り組みや、地域社会との協働による地域の活性化を推進するとともに持続可能社会の実現を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。 2024年11月

連結業績ハイライト

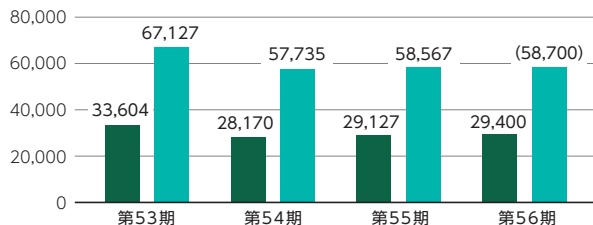
事業セグメントの売上高

(単位:百万円)

事業セグメントの名称		前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		対前年 同期比	前連結会計年度	
		2023年3月1日～2023年8月31日		2024年3月1日～2024年8月31日			2023年3月1日～2024年2月29日	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
小売事業	食料品	21,951	79.7%	22,198	80.0%	1.1	44,306	80.1%
	生活用品	495	1.8	488	1.7	△1.4	999	1.8
	衣料品	1,366	5.0	1,238	4.5	△9.4	2,671	4.8
	その他	33	0.1	34	0.1	1.4	88	0.2
	小計	23,847	86.6	23,958	86.3	0.5	48,065	86.9
小売周辺事業		3,683	13.4	3,793	13.7	3.0	7,255	13.1
合計		27,530	100.0	27,752	100.0	0.8	55,320	100.0

営業収益(売上高および営業収入)

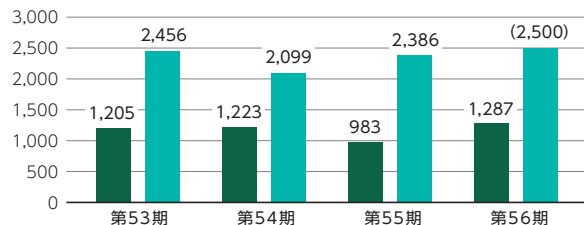
(単位:百万円)



(注)第54期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

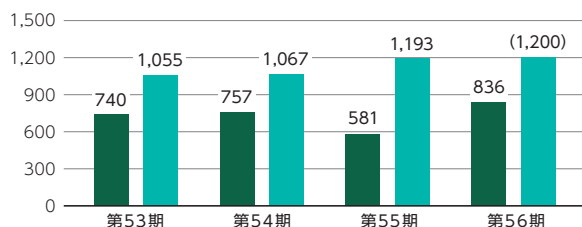
経常利益

(単位:百万円)



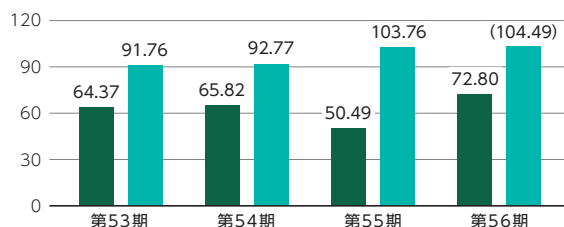
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位:百万円)



1株当たり中間(当期)純利益

(単位:円)



中間連結財務諸表(要約)

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前連結会計年度	当中間連結会計期間
	2024年2月29日現在	2024年8月31日現在
資産の部		
流動資産	5,783,228	6,763,570
固定資産	36,968,813	36,539,678
有形固定資産	26,797,245	26,499,337
無形固定資産	2,962,670	2,932,339
投資その他の資産	7,208,897	7,108,001
資産合計	42,752,042	43,303,249
負債の部		
流動負債	12,573,862	13,408,503
固定負債	5,328,445	4,209,763
負債合計	17,902,307	17,618,266
純資産の部		
株主資本	24,804,247	25,582,555
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	15,836,880	16,615,188
自己株式	△ 77,883	△ 77,883
その他の包括利益累計額	8,745	64,154
その他有価証券評価差額金	100,537	146,560
退職給付に係る調整累計額	△ 91,791	△ 82,406
非支配株主持分	36,740	38,272
純資産合計	24,849,734	25,684,982
負債純資産合計	42,752,042	43,303,249

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	2023年3月1日から2023年8月31日まで	2024年3月1日から2024年8月31日まで
売上高	27,530,483	27,752,221
売上原価	19,569,679	19,801,111
売上総利益	7,960,804	7,951,110
営業収入	1,597,056	1,647,982
営業総利益	9,557,861	9,599,092
販売費及び一般管理費	8,601,239	8,404,001
営業利益	956,621	1,195,091
営業外収益	56,902	114,694
営業外費用	30,454	22,019
経常利益	983,069	1,287,766
特別利益	-	2,000
特別損失	50,538	55,821
税金等調整前中間純利益	932,531	1,233,945
法人税等	348,507	395,155
中間純利益	584,023	838,789
非支配株主に帰属する中間純利益	2,806	2,731
親会社株主に帰属する中間純利益	581,217	836,057

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	2023年3月1日から2023年8月31日まで	2024年3月1日から2024年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,206,829	2,157,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 684,430	△ 341,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,875,418	△ 1,737,959
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 353,019	77,469
現金及び現金同等物の期首残高	822,016	708,293
現金及び現金同等物の中間期末残高	468,996	785,763

会社情報 / Topics

会社概要

2024年8月31日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086) 232-7265
店舗数	47店
従業員数	1,459名(うちパートタイマー等1,048名)

役員

2024年8月31日現在

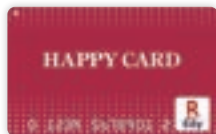
代表取締役会長	木住勝美
代表取締役社長	野口重明
専務取締役	小坂章壽
取締役	國府慎一郎
取締役	森眞吾
取締役	武本俊夫
取締役	中村哲士
取締役	山本愛子
取締役	石原久美子
常勤監査役	大内晃治
監査役	井手敬一郎
監査役	柳井孝之

取締役武本俊夫、中村哲士、山本愛子、石原久美子の4氏は、社外取締役であります。
監査役井手敬一郎、柳井孝之の両氏は、社外監査役であります。

取締役武本俊夫、山本愛子の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき、当社が同取引所に届け出た独立役員であります。

Topics

創業55周年企画「子育て応援の日」



2024年3月に創業55周年企画として子育て世代のお客様の生活支援に向けた新たな販促策「子育て応援の日」をスタートいたしました。毎週火曜日、毎月第2、第4日曜日に子育て応援・支援パスポートをハッピーカードと一緒に提示いただくとハッピーカードのポイントを5倍進呈いたしております。今後もさらなる子育て世代のお客様に支持される店舗・サービスを目指すとともに、地域のお客様の生活をより豊かにする企業を目指してまいります。

三好野レストラン児島店・三好野珈琲児島店オープン



2024年4月17日に天満屋ハピータウン児島店(岡山県倉敷市)において子会社の株式会社でりかエッセンが「三好野レストラン児島店」および「三好野珈琲児島店」を改装オープンしました。三好野レストランにおいては伝統の味や製法を取り入れており、三好野珈琲については、サイフォン式の手淹れ珈琲とカフェスイーツを取り揃えております。今後も地域のみなさまにご愛顧いただけるお店づくりを目指してまいります。

株式の状況等

株式の状況

2024年8月31日現在

発行可能株式総数 30,000,000 株
発行済株式の総数 11,550,000 株
株主数 6,085 名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000株	23.95%
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	913,800	7.91
株式会社中国銀行	376,800	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	362,000	3.13
天満屋ストア共和会	328,500	2.84
三菱食品株式会社	175,700	1.52
株式会社みずほ銀行	149,600	1.30
株式会社三井住友銀行	140,800	1.22

中間配当に関するお知らせ

2024年10月9日開催の当社取締役会において決議いたしました第56期(2024年3月1日から2025年2月28日まで)中間配当の支払いについて、次のとおりお知らせいたします。

決議の内容

2024年8月31日の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払う。

- 中間配当 1株につき7円
 - 効力発生日 2024年11月7日(木)
(支払開始日)
- 以上

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 5月
基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日

■ そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告方法 電子公告とし、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載いたします。
<https://www.tenmaya-store.co.jp>

■ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

インターネット <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
ホームページURL

よくあるご質問(FAQ) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

■ 株式に関する住所変更等の届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。